

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/03/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 急伸地合が続く、ホルムズ海峡封鎖

NY原油先物相場は、1バレル=90ドル台後半まで値上がりする展開になった。2月28日に米国とイスラエルがイランに対する攻撃に踏み切ったが、ホルムズ海峡の封鎖で世界的な原油・石油製品の供給に混乱が生じたことを受けて、3月9日に2022年6月以来の高値更新となる119.48ドルまで急伸した。その後は、トランプ米大統領がイランに対する攻撃が「ほぼ完了」したとの認識を示したことで、翌10日には76.73ドルまで急反落した。しかし、高いレベルの先行き不透明感が維持される中、週末にかけては改めて押し目買いが優勢になり、100ドルの節目に迫る展開になった。

イランはホルムズ海峡を封鎖し、日量2,000万バレル規模の原油・石油製品の海上流通が滞っている。ホルムズ海峡ではイランが機雷を敷設した可能性も指摘されており、高いレベルの供給不安が維持されている。また、周辺アラブ諸国では出荷難で輸出できずに在庫が積み上がっているため、生産調整に着手し始めていることも警戒された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月6日時点）は、原油が前週382万バレル増、ガソリンが365万バレル減、石油精製品が135万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## ホルムズ海峡の封鎖続くと急伸も、イラン情勢次第の展開が続く

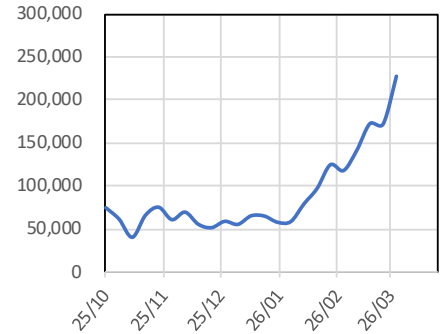
今週もイラン情勢次第になる。このままホルムズ海峡の封鎖が続き、さらに湾岸諸国の生産調整が強化されると、原油相場の上振れリスクが維持される。国際エネルギー機関

(IEA)加盟国は、過去最大となる4億バレルの石油備蓄を共同放出することで合意したが、ホルムズ海峡の海上流通が正常化する見通しが立つまでは、100ドル台乗せから一段高を試すリスクがある。ホルムズ海峡の封鎖が長期化すると、指数関数的にその影響は拡大していく。特にイラン軍によるタンカーや周辺国の石油関連施設に対する攻撃が報告されると、一気に10ドル、20ドルと噴き上げる可能性もある。

一方、トランプ米政権内では原油高の実体経済への影響を懸念する声も強くなっている。中間選挙を控えていることもあり、ガソリン高が共和党の議席を大幅に減らすリスクが警戒されている。また、株式相場も高値から値を崩している。これ以上の戦闘継続は困難との見方が強まると、トランプ大統領が何らかの形で「勝利」宣言を行い、事態の鎮静化に動く可能性がある。その際に、イランが攻撃を止めるのか、ホルムズ海峡の封鎖を解除するのかといった問題もあるが、最悪の状態を脱したとの評価が広がると、材料出尽くし感から短期投機筋の持高調整で80ドル台まで急反落する可能性もある。

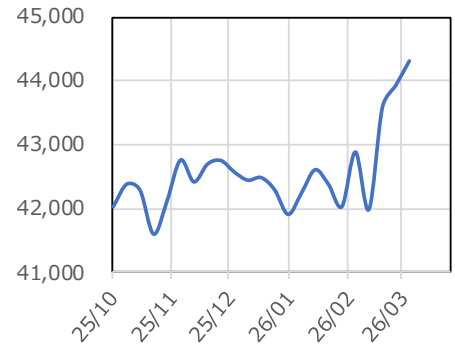
IEA月報では、2026年の世界石油供給が前年比で日量110万バレル増に留まるとの見通しが示された。そのほぼ全量が非石油輸出国機構(OPEC)プラスの増産になると予想されている。また、世界石油需要は前年比で日量64万バレル増と、前月から21万バレル下方修正された。ただし、ホルムズ海峡の流通の混乱期間に強く左右されるとして、今後の需給見通しは大きな不確実性を抱えた状態にあることが再確認された。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



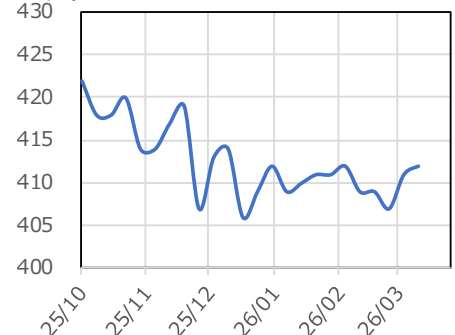
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレマー)をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

